

チェーンソー目立て講習会が開催されました

3月26日に北上川中流流域森林・林業活性化センター北上地区協議会、北上地方農林業振興協議会の共催により、北上市憩いの森にてチェーンソー目立て講習会が開催されました。

林野庁林業機械化センターの加利屋主任林業機械化指導官を講師に招き、森林組合や林業事業体の作業員、指導林家、ボランティアでチェーンソーを使っている皆さんなど34名が参加されました。

まずは室内でチェーンソーの目立ては何故必要なのか、目立てのポイントなどについて講義がありました。午後は加利屋指導官による実演の後、個別指導を受けながら各自持参したチェーンソーの目立てを行いました。

玉切った木を倒さずに切る実演では参加者の多くが驚いた様子で見入っていました。

参加者からは「目立てでこんなに切れるのか」、「新品の刃も目立てするのか」、「目立ての方法はなかなか聞けないから良か

った」などの感想をいただきました。



講師による実演



ポイントを熱心に聞く受講者

目立てのポイント

- ① チェーンソーは必ず固定
- ② 刃の種類に合う角度を作成
- ③ 刃の種類に合うやすりを使用（刃が減ったらサイズを変えること）